

第 43 回理工白門祭展示報告

11月1日～3日に涉って行われた後樂園キャンパスでの理工白門祭に白門技術士会として昨年に引き続いて第2回目の展示出展を行いました。場所は化学の大石教授のご尽力で昨年と同じ6号館一階エントランスが確保出来ましたが、前回の掲示板だけの展示ではあまり迫力が無かったと言う事で、金川会長の発案でご友人が経営される横浜/メガケム社から燃料電池とスターリングエンジンの作動実証模型の貸与を得て26日に多摩キャンパスでのホームカミングデーでの展示に引き続いて展示したところ、中日の2日は生憎の雨天であったので全体来場者もやや低調でしたが第一日と第三日目は多くの立寄り見学者がありました。

電気自動車等環境問題から燃料電池の応用範囲拡大が宣伝されていますが、その基本的な原理の理解に、また名前だけは知っている温度差を利用するスターリングエンジンの実際に、家族子供連れの方々のみならず学生でも初めて見たと言うケースも多かった一方で、思わず説明する側が“たじたじ”となる鋭い質問を呈する学生も居た状況であり、同時に技術士資格の説明、学生には受験の啓蒙を行ったので、白門技術士会存在の宣伝に大きな効果があったと信じます。理工白門祭実行委員会にも認知された様で来年も同様な展示物を含めて出展する予定ですが今回参加出来なかった方も是非参加され後輩学生の研究成果の展示なども見学される事を期待します。

09.11.14 木村貞彦